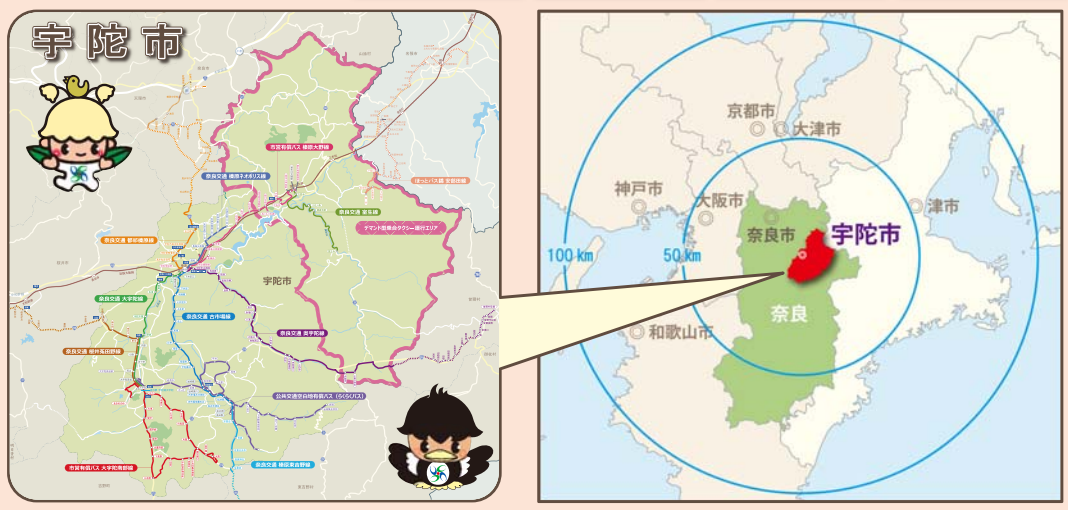


宇陀市内における地域公共交通に対する意識の醸成・利用促進に向けた学校MMの取組みについて

東条 有紀 宇陀市 企画財政部 企画課
 米田 佳弘 奈良交通(株) 自動車事業本部
 小西 聡 国土交通省 近畿運輸局奈良運輸支局
 猪井 博登 富山大学都市デザイン学部
 山室 良徳 中央復建コンサルタンツ(株) 計画系部門
 榎本 慎也 中央復建コンサルタンツ(株) 計画系部門

宇陀市の概況

場所：奈良県の北東部に位置
 面積：247.50 平方キロメートルで、奈良県全体の 6.7%
 人口：30,129 人
 世帯数：12,938 世帯
 高齢化率：40.0%
 ※ 令和元年6月1日現在



地域公共交通網形成計画におけるMMの位置付け

基本方針	「健康都市 ウェルネスシティ宇陀市」実現を目指すまちづくりを支える地域公共交通の維持・活性化
	市域全体をカバーする地域公共交通ネットワークの形成
	地域特性に応じた多様な交通手段による持続可能な地域公共交通の再編
	地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通の育成
事業の方向性	住民・地域内従業者の意識改善による地域公共交通の維持・活性化
	新たな利用につなげる情報案内の改善や周知徹底による地域公共交通の再生・活性化
	持続可能な地域公共交通の実現に向けた地域の公共交通を考え、支える仕組みづくり
具体的な事業	沿線住民・沿線事業者・学校・転入者に対するモビリティ・マネジメントの実施
	宇陀市健康通勤プロジェクトの推進(行政職員への積極的な利用)
	高齢者運転免許自主返納支援制度との連携 学校行事やイベントでの利用促進

市内の小学生を対象（6回で計 194 人）に、
学校モビリティ・マネジメントを実施

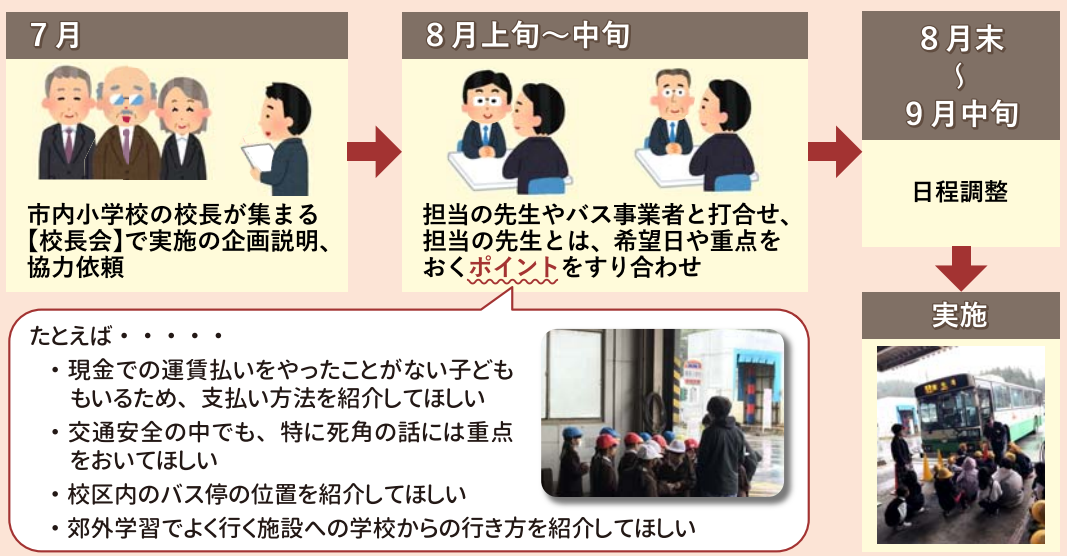
学校モビリティ・マネジメントの概要

取組み名：バスの乗り方・安全教室
 主旨：バス利用のメリット・デメリット、利用のマナー、身体の不自由な人への思いやり、バスの乗り方などを知ってもらう。
 対象：市内の小学生（計 6 校、194 人）

◆「バスの乗り方・安全教室」の開催状況

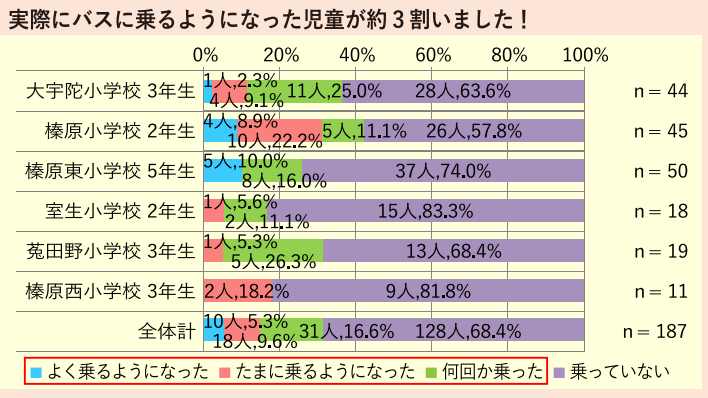
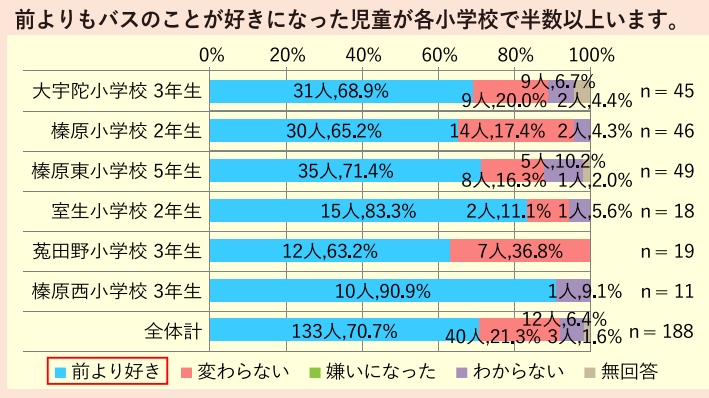
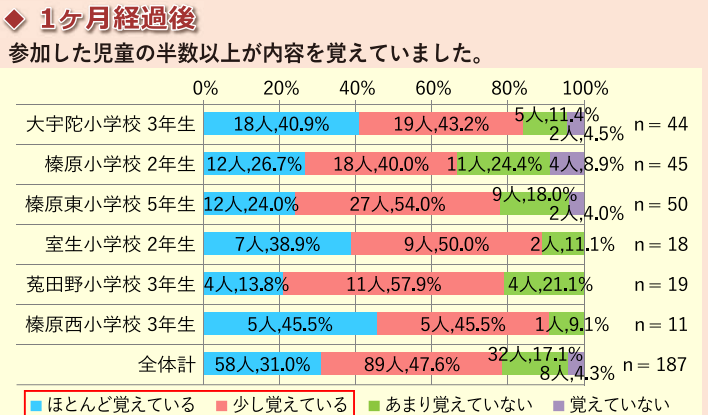
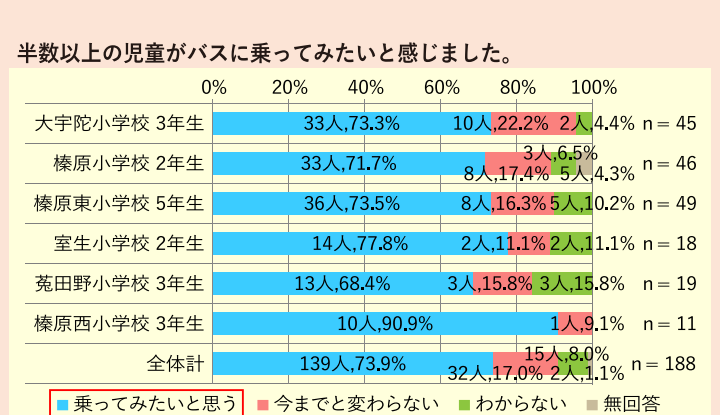
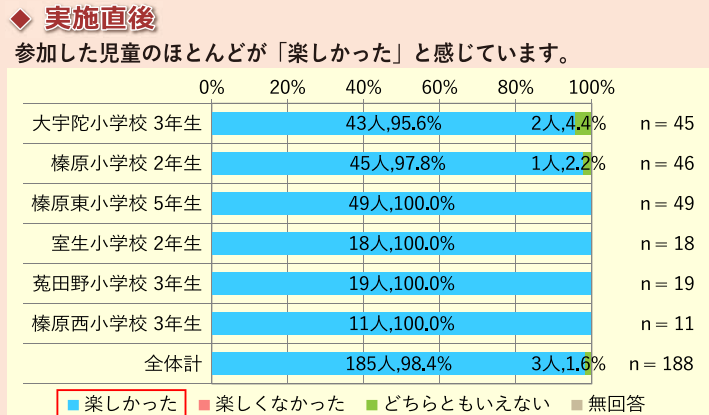
日程	学校名	対象学年	生徒数	教員数	合計
平成30年9月27日	菟田野小学校	3年生	20人	3人	23人
平成30年10月9日	室生小学校	2年生	18人	2人	20人
平成30年10月15日	榛原西小学校	3年生	11人	2人	13人
平成30年10月16日	榛原小学校	2年生	49人	4人	53人
平成30年10月25日	榛原東小学校	5年生	51人	3人	54人
平成30年10月25日	大宇陀小学校	3年生	45人	3人	48人

学校モビリティ・マネジメントの実施に向けた調整



学校モビリティ・マネジメントを通じた意識の変化の把握

実施直後と1ヶ月経過後にアンケートを実施して、意識の変化を把握しました。



学校MMの今後の課題

- ・1ヶ月経過後のアンケートからもわかるように、実際にバスを利用していない子どもが7～8割を占めている。子どもだけではバスを利用して、外出しないことが要因であると考えられる。
- ・実際に利用する機会を創出するために、普段の移動手段のひとつとして、保護者にバスを利用してもらうような工夫が必要である。
- ・また、学校MMを受講した子どもたちが将来の通学や通勤手段として、バスを利用できるように継続的な働きかけが必要である。

学校MMの今後の予定

子どもたちへの継続的な働きかけとして、学校MMを今年度も実施するよ！

学校MM後のバスの利用につながるような工夫を小学校や交通事業者と検討するよ！